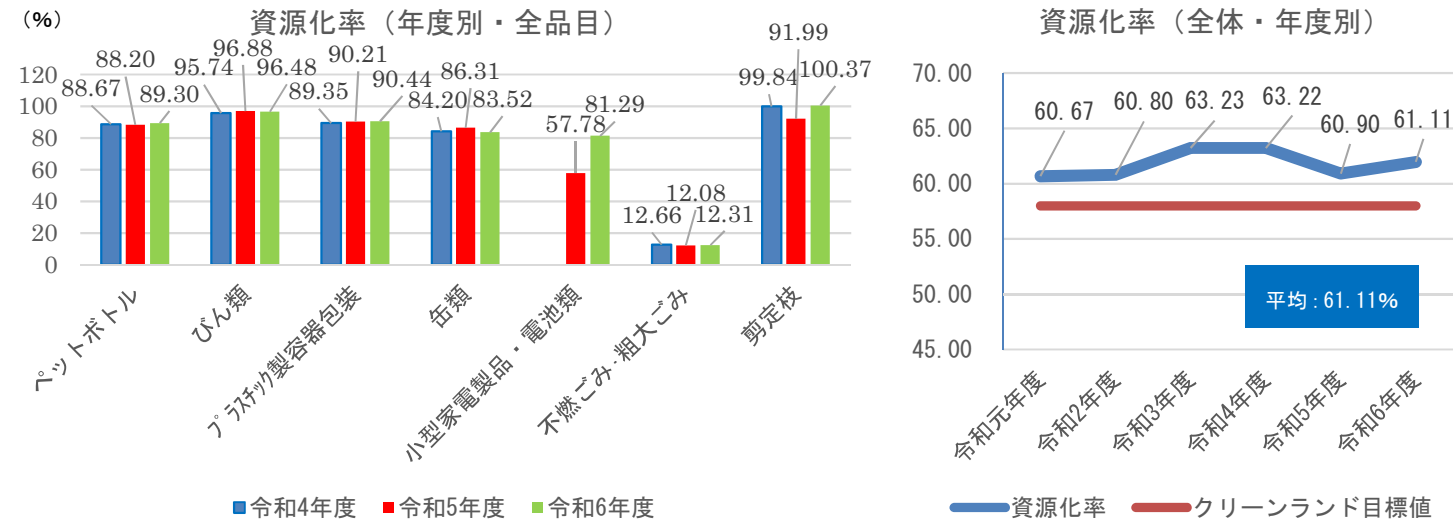


令和6年度(2024年度) リサイクルプラザ(豊中伊丹スリーR・センター)内部モニタリング結果

1. 資源化



【評価】

・豊中伊丹スリーR・センターの資源化率は今年度61.11%と昨年度に比べ向上した。昨年10月から豊中市が充電式電池内蔵の小型家電・電池類に収集品目を替えたことにより、初年度は年度を跨いだ搬出となったため、資源化率が下がったが、2年目はその影響がないため、資源化率が向上している。

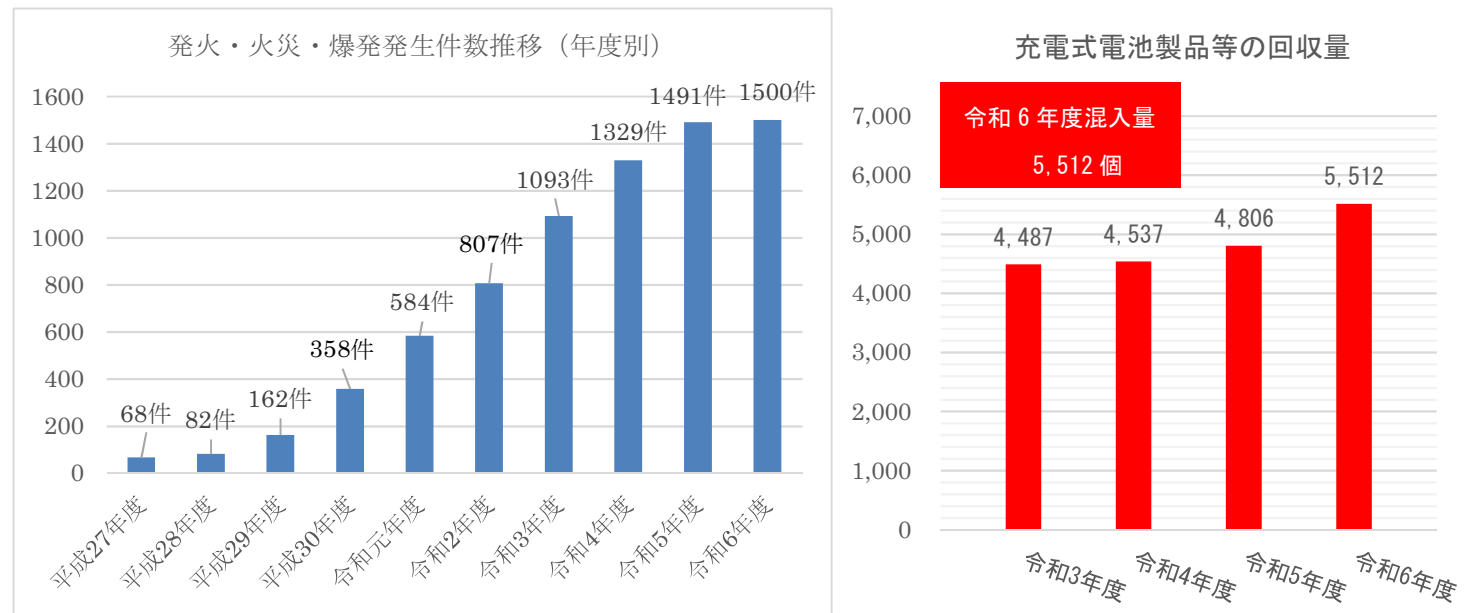
・ペットボトル、プラスチック製容器包装、小型家電製品・電池類等の資源化率が向上しており、これまでの市民啓発の効果が表れているものと考えられる。

《令和7年度(2025年度)における対応》

・引き続き豊中市、伊丹市と協力して搬入物検査を実施し、不適正品目の混入低減や適正な分別排出に向けた周知・啓発を行うことにより、資源化率の向上に努めていく。

2. 事故・故障 【労働災害0件】

発火・火災・爆発(ごみ処理停止に至ったケース): 1,500件(その他焼却施設への可燃搬送装置上での発火件数59件)



【評価】

・昨年に引き続き労働災害が発生しなかったことは、作業従事者への指導に加え、保護具の着用など効果的な対策が適切に実施できたためと考える。

・発火件数については、豊中市の充電式電池内蔵の小型家電・電池類の定期収集開始により伸び止まったところであるが、1年間で約84時間に及ぶ運転停止が発生している状況である。

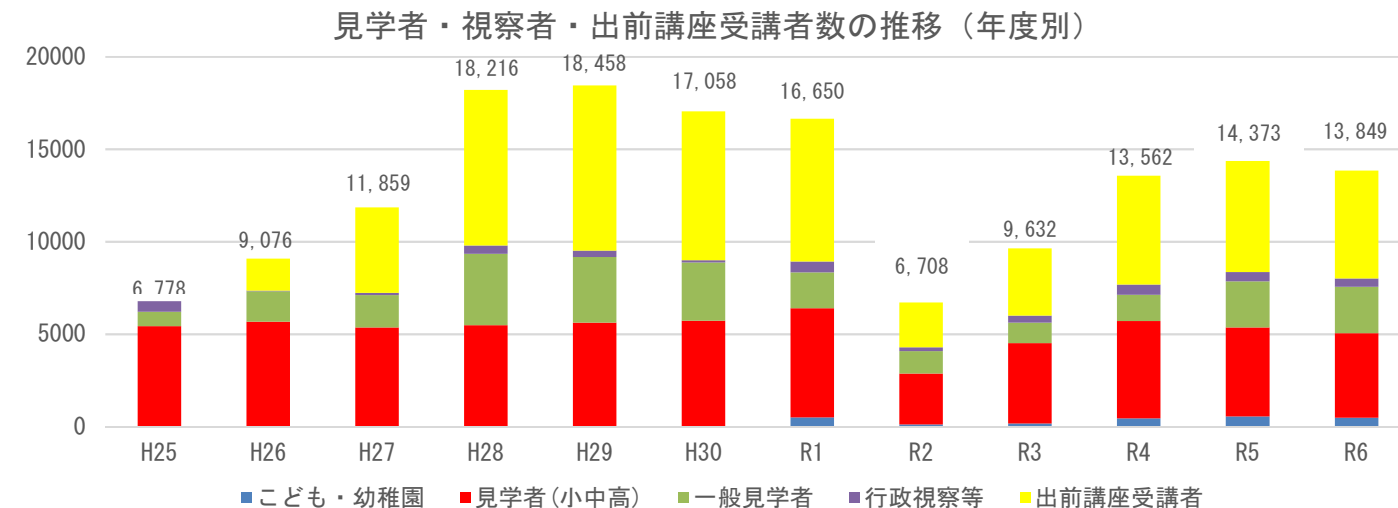
・プラスチック製容器包装やペットボトルへの充電式電池類の混入量が更に増加しており、火災の危険性が高まっている。

《令和7年度(2025年度)における対応》

・手選別業務における労働災害ゼロを継続するため、受託者に対して保護具の検証や作業手順の徹底を引き続き指示する。

・充電式電池やそれらを内蔵する小型家電製品について、豊中市での分別収集の周知を図ることに加え、伊丹市での定期収集開始に向けた働きかけを行う。また、拠点回収についても豊中市、伊丹市と協働して啓発することにより、発火検知件数の低減を図る。

3. 環境学習・啓発



【評価】

・令和6年度は小学校4年生の社会見学について、バスの予約が取れなかったこと等により、両市で10校が来られず、来校数が減ったことから、前年度より見学者数は減少となった。

・令和6年度より、クリーンランドの施設見学で学んでいただきたい3Rや分別の意識向上についての質問にアンケート内容を一部変更したことに伴い、モニタリングの指標を変更した。回答としては高い評価をいただいている。

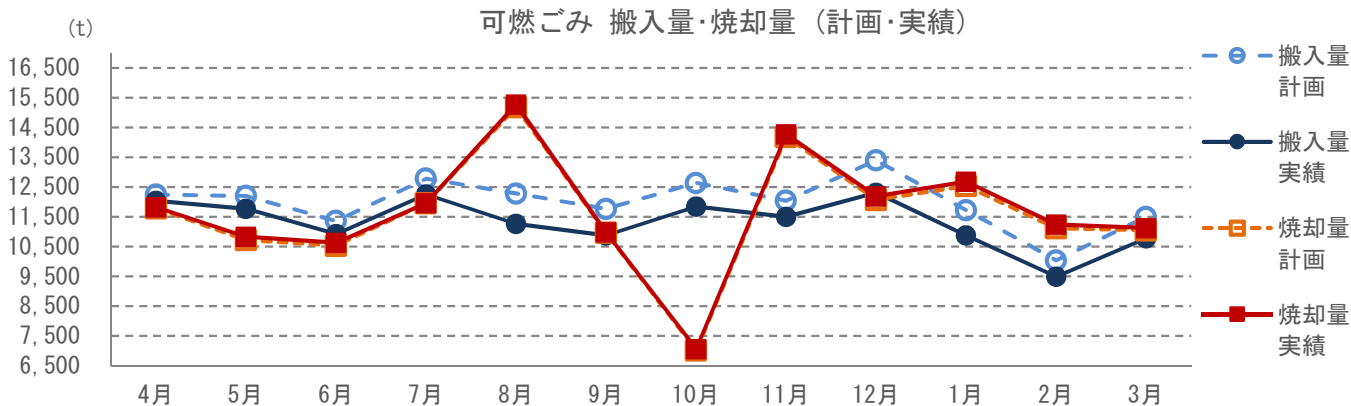
《令和7年度(2025年度)における対応》

・小学4年生の社会見学での来校数を増やすよう予約受付を早めることとした。また、魅力的な施設見学やイベントとなるよう検討を行っていく。

・引き続き、豊中伊丹スリーR・センター、ごみ焼却施設、クリーンランドひろばを合わせた効果的な環境学習メニューの企画実施を行い、更なる来場者増を図る。

令和6年度(2024年度) ごみ焼却施設 内部モニタリング結果

1. ごみ焼却施設



(規制基準)

排ガス (煙突)	測定項目数	基準値判定	排水 (放流水出口)	測定項目数	基準値判定	焼却残渣	測定項目数	基準値判定
	7	◎		20	◎		10	◎

◎すべての項目において基準を満たしている。※測定項目、基準値については、ごみ焼却施設モニタリング詳細を確認。

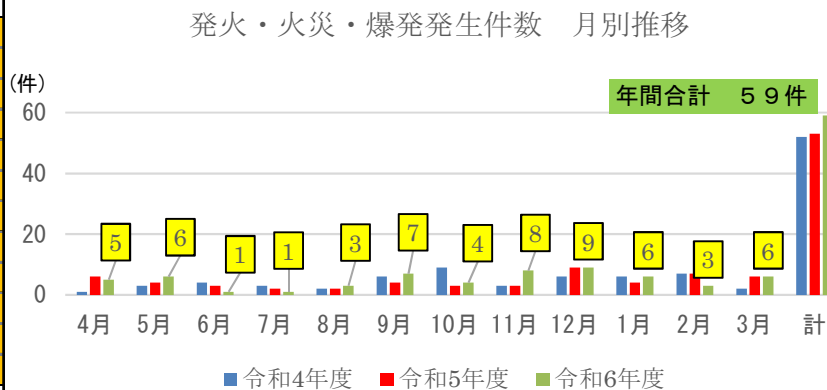
2. 事故・故障

労働災害：0 件

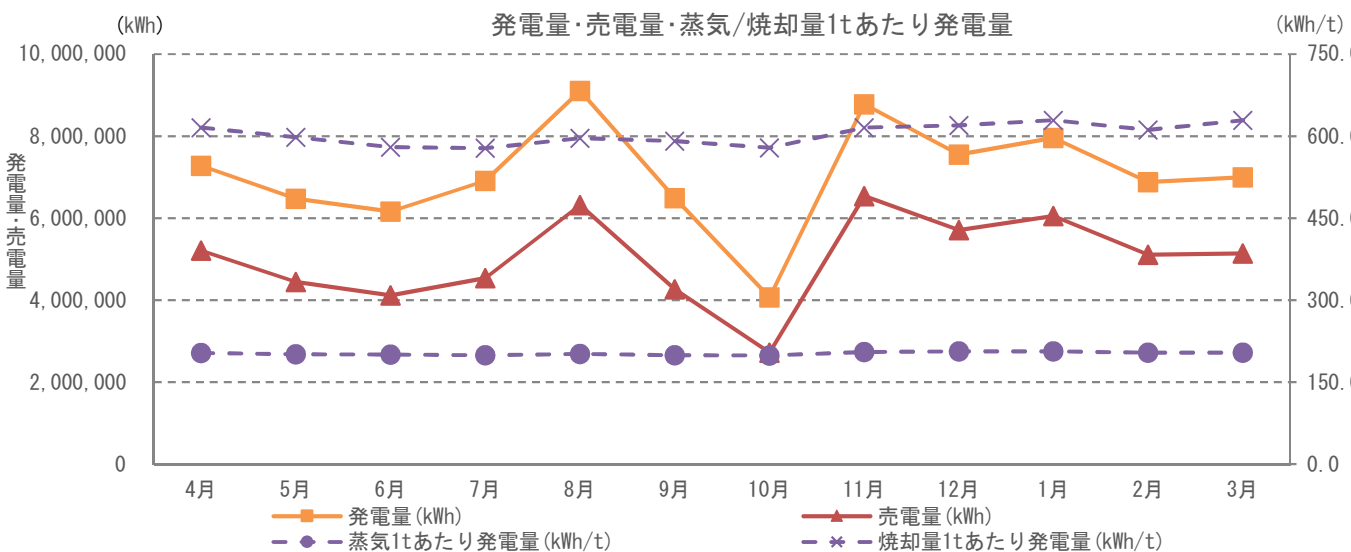
設備・機器故障(焼却炉の停止に至ったケース)：0 件

ごみ焼却施設 発火・火災・爆発発生件数 (月別推移)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4月	1	6	5
5月	3	4	6
6月	4	3	1
7月	3	2	1
8月	2	2	3
9月	6	4	7
10月	9	3	4
11月	3	3	8
12月	6	9	9
1月	6	4	6
2月	7	7	3
3月	2	6	6
計	52	53	59



3. 資源化



【評価】

- ・搬入実績量が計画量に対し、毎月減少していることをうけ、適宜焼却量の計画見直しを行うことで焼却量計画量と実績量の乖離を少なくし、安定的な運転管理を行った。
- ・環境基準において、適正かつ安定的な施設の運転維持管理により、全ての項目が基準値を満たしている。

《令和7年度(2025年度)における対応》

- ・可燃ごみ搬入量の増減について柔軟に対応し、ピット残量の調整を行うことで運転計画の適宜見直しを行う。
- ・排ガス・排水・焼却残渣の規制基準遵守も含め日常点検の実施等により適正な施設の維持管理に努める。

【評価】

- 労働災害
 - ・労働災害が発生しなかったことは、作業前ミーティング等の徹底や職員一人ひとりが安全を意識しながら日々行動していることの現れであり、職員自身の安全意識の高さが窺え、「労働災害ゼロ」を達成した。
- 故障
 - ・日々の保守点検により、焼却炉の停止に至るような設備・機器の故障はなかった。
- 発火・火災・爆発
 - ・年度替わりに発火件数が増加傾向にあることから、年度初めの早い段階で消火訓練を実施し、適切な消火活動が行えるよう備えた。

《令和7年度(2025年度)における対応》

- 労働災害
 - ・職員一人ひとりが常に安全作業を心がけるよう、始業時の安全唱和や作業前ミーティングを十分に実施するとともに、作業時には作業者同士の相互安全確認を徹底し、「労働災害ゼロ」の職場環境づくりを目指す。
- 故障
 - ・継続した保守点検及び迅速なトラブル対応を行う。
- 発火・火災・爆発
 - ・引き続き、消火訓練を実施し、適切な消火活動が行えるよう備える。
 - ・発火件数は微増となっていることから、主な原因となるリチウム電池内蔵小型家電の分別周知を豊中伊丹両市へ働きかける。

【評価】

- ・焼却量1tあたりの発電量についても平均600kwh/tを超えており、昨年度に引き続き安定的、効率的な施設稼働ができた。

《令和7年度(2025年度)における対応》

- ・高効率発電については、ごみ搬入量と焼却炉の稼働状況、また設備機器の適正な管理を行うことにより維持できることから、運転計画の適宜見直しを実施するとともに、日常点検や補修工事等を実施することにより管理を行っていく。